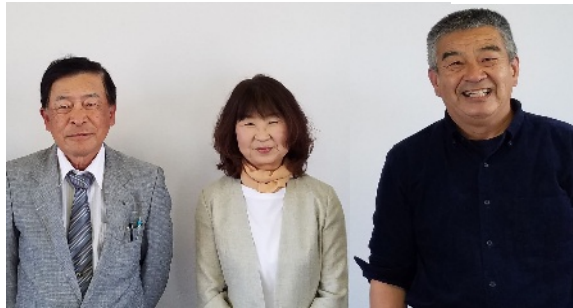


なんき
南紀用水利土地改良区 (和歌山県)

バイタリティーあふれる女性理事



(左) 谷口副理事長 (中) 二葉理事 (右) 萩野理事長

ふたばみちこ
二葉美智子 理事



経歴

土地改良区理事
平成30年1月就任
令和4年1月再任
(現在2期目)

夫婦で梅を栽培
加工販売を手掛ける
(ふたば農園)

理事になって思うこと

(男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど)
庶務担当理事を任命され、事業要望活動や広報活動など、理事会のほか業務に携わっています。力仕事では差が出るでしょうけど、老若男女関係なく、個々に得意業務に携われる業務に就けることがポイント。この様なことで、私は理事の職を難しくは思っていない。

女性理事登用を進めるための秘訣(女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス)

私は思っていないが、交流のある他地域の女性仲間と会話する中で、例えば、農業委員会などと比べて、土地改良区理事については、敷居が高いよねと聞く。他の団体より遅れをとっているからでしょうけれど、そこ(敷居が高いというイメージ)を払拭すべき。

組織の概要

面積：1,380ha
組合員：1,350人
理事：20人(うち女性員内一人、女性員外1人)
監事：3人(うち女性一人)
職員：9人(うち女性2人)

通常の方法
通常の方法：2選任区から5人の総代により候補者を選出。現在、3選任区への改正に取り組む中。

二葉さんが理事を引き受けるまで



事務局

※どのように説得したか。

本事業で農業の体系が改善され、経営安定に繋がったこと。理事としてお願いしたい職務について説明しました。



二葉理事

※引き受けた決め手。

南紀用水利土地改良区組織体制が決め手。当時の理事長による主人への説得、事務局長からの職務などの説明で承諾しました。

登用までの流れ

選挙制 ・ 選任制

令和4年1月7日 総代会にて選任
1月20日 理事就任(2期目)
(任期：令和8年1月19日)

今後の予定
令和7年3月 定款付属規程変更(被選任区増)

はぎのこういち
萩野幸一 理事長より

※女性理事登用を進めた動機やきっかけ。女性理事への期待。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

当時の理事長より、農業経営は男女共同作業で成り立っている。女性理事登用を切望していることを説明された。

当時の員外理事との調整により、調整が整ったことから二葉さんにオファーされました。

理事の一員として、活躍して頂き、溶け込んでいただいている。今後もこの点を重視したい。

事務局長より

※登用によって土地改良区に生じた変化。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

男性にありがちな、端的な会話で終わるのではなく、世間話による情報交換などにより、周りがスキルアップに繋がる変化を受けている。

ご本人の人望から、ご家族の承諾はもとより、定例会以外に対応して欲しい業務をまとめ、理解もらえるか、事前説明が承諾の鍵であったと感じています。